

# 金城学院大学の共学化に関するお知らせ

2026年7月3日  
学校法人金城学院  
理事長 小室 尚子

## 1 関係者の皆さまへ

平素より金城学院の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

学校法人金城学院は、学校法人名古屋学院大学との合同協議会における協議を踏まえ、2026年7月1日開催の理事会において、「学校法人名古屋学院大学への設置者変更を前提に、金城学院大学について2029年度（2029年4月）から共学化を実施すること」を決定しました。今後は、設置者変更の正式決定に向けた協議を進めてまいります。

また、2029年度からの共学化は、受験生の進路選択、在学生の学修継続に関する見通しに関わるとともに、保護者、保証人、卒業生その他関係者の皆さまへの説明に関わる重要な事項です。そのため、設置者変更の正式決定前の段階ではありますが、現時点でお伝えできる内容を早期に公表し、今後の検討状況についても順次お知らせしていくことが必要であると考え、本決定について公表することとしました。

なお、設置者変更の正式決定は2026年10月を予定しており、学校法人名古屋学院大学との最終契約書に2029年度の共学化実施を明記したうえで、各法人において理事会、評議員会他所定の機関の手続きを経て、設置者変更及び2029年度からの共学化実施に関する最終的な取扱いを正式に決定する予定です。

## 2 共学化にあたっての基本的な考え方

金城学院は、1889年の創立以来、「福音主義キリスト教に基づく、女性への全人教育」を建学の精神とし、「互いの尊厳を認め、互いを生かしあえる愛に基づく社会をつくる」を存在意義として掲げ、教育活動を展開してきました。

金城学院大学は、金城学院の建学の精神と存在意義のもと、女性への教育を通じて、学生一人ひとりの主体性、専門性、社会で活躍する力を育んできました。女子大学として培ってきた教育の特色、学生支援の経験、キャリア形成支援の蓄積は、金城学院大学にとって重要な教育資産です。

金城学院大学の共学化は、これまでの女子教育の蓄積を否定するものではありません。金城学院の建学の精神と存在意義をこれからの社会においてより広く実現していくため、金城学院大学が培ってきた教育資産を基盤として、性別にかかわらず多様な学生がともに学び、互いの違いを尊重しながら成長し、ジェンダーギャップの解消に貢献できる人材の育成を目指すものです。

18歳人口の減少、大学間競争の激化、進学ニーズの多様化など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした環境のもとで、金城学院大学の教育を将来にわたり維持し、さらに発展させていくためには、これまでの教育の蓄積を大切にしながら、より幅広い学生に学びの機会を開いていくことが必要であると考えています。

金城学院大学は、これまで大切にしてきた教育の精神と実践を継承しながら、これからの社会に求められる学びを提供し、学生一人ひとりが自らの可能性を広げ、社会に貢献できる力を身につけられる大学を目指してまいります。

### **3 共学化に向けた今後の準備について**

2029年度からの共学化に向けては、教育内容、学生支援体制、施設・設備、入試広報等について一定の準備期間が必要となります。そのため、まず共学化の実施時期及び基本的な考え方を示し、現時点でお伝えできる内容を公表したうえで、今後、学校法人名古屋学院大学との協議及び学内での検討を通じて、具体的な取扱いを順次整理してまいります。

在学生については、学修の継続、卒業・修了、学位取得に不利益が生じないようにすることを基本として、教育課程、履修、学生生活、キャリア支援等に関する必要な対応を検討してまいります。共学化に伴う学修環境や学生生活上の変更についても、在学生が安心して学びを継続できるよう、必要な経過措置や相談体制等を検討してまいります。また、受験生・保護者、高等学校関係者に対しても、入学者選抜や入学後の学修環境に関する情報を、内容が具体化した段階で順次お知らせします。

以上